

## ■ VISTA 8 ユーザーレポート

### 株式会社フジテレビジョン 様

#### VISTA 8

毎日生放送で運用するV8スタジオ・サブをVISTA 8で更新



株式会社フジテレビジョン  
技術局 制作技術部  
音声  
國谷 哲男

#### V8 スタジオ

フジテレビV8スタジオはスポーツニューススタジオとして、毎日生放送を行っていると同時に、スポーツ中継の送出も数多く行っているスタジオです。今回の音声設備の更新は、本社が台場に移転したときから使用しているアナログコンソールの老朽化対策と、容易に5.1サラウンド放送の送出にも対応できる音声システムにする事が目的でした。また、地上波アナログ、デジタル、BS、CSなど複数のメディアに対して、生放送・時差送出を行うために、一度に多数のプログラムを制作する事が可能な、柔軟で拡張性の高い音声システムも必要とされていました。

更にV8スタジオはV9スタジオ(報道専用スタジオ)がシステムの更新などで使用できない場合、ニュース送出にも使用されるスタジオであり、それに対応する様々な機能も要求されていました。

#### なぜ VISTA 8 を選んだのか

今回フジテレビでは以下の理由からVISTA 8を選びました。

#### 1. 安定性

数あるデジタル卓の中からVISTA 8を選んだ理由の第一は安定性です。毎日生放送を行うスタジオであるという事から、システムの安定性は選定の際の最重要項目でした。VISTAはフジテレビでも本社V2スタジオにVISTA6、湾岸スタジオのM3、M4スタジオにVISTA8が導入されており、我々自身がその安定性を実感していた事、国内外の放送局への導入実績も多く、それもVISTAの安定性を裏付けている事、これが決め手となりました。その安定性に加え、今回は電源やPCの二重化はもちろん、万が一の際にはボタン1つで予備卓へ乗り換え可能なシステムを構築するなど生放送スタジオとして万全のシステムとしました。

#### 2. 操作性

前述の通り、フジテレビでは既に本社V2スタジオ、湾岸スタジオのM3、M4スタジオにVISTAが導入されていますが、その優れた操作性はスタジオの運用を行う関係各社の方々にも大変評判がよく、シンプルで機能的なデザインはこれまで使用してきたアナログ卓と同じ様な感覚で使用することができます。それに、フェーダー並びを設定するSTRIP SET UP画面や出力ルーティングを設定するGLOBAL PATCH画面は視覚的にもわかりやすく、非常に操作しやすいと思います。

#### 3. コンパクトなシステム

予備卓(YAMAHA DM2000)の設置場所も当初の課題でしたが、VISTAはコントロールデスクがコンパクトなため、並べて配置することができ、狭いサブのスペースを有効に使うことができました。

#### 4. 音質

これはVISTAを使ったことのある方ならわかると思いますが、言うまでもありません。さすがに伝統ある音のブランドであると感じています。

#### 運用を開始して

運用を開始してから半年以上経過しましたが、大きなトラブルは特にありません。また、5.1サラウンドでのスポーツ中継も、従来とは比較にならない、整った環境で送出することができるようになりました。今後、フジテレビの様々なスポーツ中継にVISTAが活躍していくことでしょう。

#### 最後に

今回の更新は映像システムとの兼ね合いもあり、仮設のコンソールを設置して、毎日スタジオの運用を行いながら工事を行うという非常に大変な工事でした。工事時間も制限された中、強行なスケジュールに対応していただいた関係者の方々にこの場を借りてお礼を申し上げます。